

令和4年度第3回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日 時	令和4年6月28日（火）午後7時00分～8時15分
会 場	稲武支所2階 団体会議室

1 あいさつ

○大内会長

梅雨明けが早く、暑い季節になった。熱中症の危険も心配しなければいけない。一方、本日の協議会から、各委員による取組発表を行うので、議論をお願いしたい。また、今週末には、道の駅どんぐりの里いなぶのリニューアルオープンがある。ぜひ、地域の活性化につなげていければと思う。

○三江顧問

道の駅どんぐりの里いなぶがいよいよリニューアルオープンする。尽力いただいた全ての関係者に御礼申し上げたい。

2 協議事項

(1) 各団体からの現在の取組、課題などの発表について

①いなぶ観光協会

いなぶ観光協会の村瀬事務局長が出席し、説明した。

村瀬事務局長；

- ・観光協会が実施や関係している取組における課題事項について報告したい。稲武の将来や次の展開につなぐことができる取組にしていくため、各委員から意見をいただきたい。
- ・ウォーキング大会の「歩かまい稲武」については、参加者から「秋にも稲武に来たい」という声をいただいているが、応えることができていない点は課題である。
- ・稲武まつりについては、特に課題意識を持っている。過去4年間、コロナ感染症や雨天等で、通常開催ができておらず、今年度は5年ぶりの開催になる予定である。一方で、地域の皆さんの「やらされ感」や、稲武全体のまつりではなく、「稲武の中心地のまつり」になっているという声も聞く。

<質疑>

大島委員；稲武まつりについては、稲武の中心地以外の地区でも参加したい住民

は多いと思うが、移動手段がないということもあると思う。送迎バスなどがあるとよい。

→村瀬事務局長；以前、送迎バスを走らせたことがあったが、利用客がほとんどいなかった実態がある。

→三江副会長；通常のどんぐりバスでは難しいものか？

→大島委員；難しいと思う。川手町なら川手町で1台あるとよい。

山田副会長；稲武まつりは、稲武地区住民が楽しむまつりだと思う。例えば、小田木町の住民も楽しむことができるようなまつりになるとよい。

→村瀬事務局長；今の稲武まつりの形態は、観光の視点ではインパクトが弱いと考えている。一方では、コミュニティ的な要素としてはどうだろうと考えた場合に、その辺りのすみ分けについて、各委員はどのように考えているか？

→山田副会長；住民が、ちょっと行ってみようかと思えるようなまつりが理想かと思う。

古橋真人委員；稲武まつりの参加者を見ていると、お盆でUターンしてきている人が多いと思う。彼らに、今の稲武の取組を伝えることができれば、新しい輪が広がるきっかけになると思う。

三江副会長；稲武まつりは、打上げ花火が有名になっているという認識がある。一方、運営側としては、8月14日～16日の盆休みが無くなってしまふことはなかなかつらいところである。

大内会長；今年度、稲武まつりは開催40周年の節目であることから、来年度以降につなげるために、住民アンケートを取るのもよいと考えている。

古橋久三委員；ウォーキング大会「歩かまい稲武」の参加者は年々減っているような気がするが、どうか？また、同時期に、フィールドディスカバリーゲーム（FDG）が開催されたが、稲武の魅力を発信できるコンテンツだと感じた。

→松井弘光委員；「歩かまい稲武」は、コロナ禍前でも参加者は減る傾向だった。参加者自身の高齢化もあるが、参加料を500円から1,000円に上げて、その代わりに、500円分の金券を配布する制度に変更した際に、参加者は減った。

→山田副会長；「歩かまい稲武」については、ただ参加者が増えればよいというものではなく、いかに稲武にお金を落としていってくれるかが大事であると認識している。

三江副会長；FDGはどうだったか？

→村瀬事務局長；参加者の意識も高く、ここでイベントを本当に実施したのかと

思うぐらい、ゴミなどが落ちていなかった。

→三江副会長；大井平公園の駐車場が満車になるのではないかと不安要素もあったが、どうであったか？

→杉山委員；私自身が当日に大井平公園の駐車場係をやったが、参加者に対して、遠方の稲武支所駐車場を案内した際でも非常に協力的であり、FDGに対しては良い印象を持った。

②稲武地区区長会

藤綱副会長；

- ・区長会では、毎月の会議の前の1時間を使って、勉強会を開催し、各区長から各自治区の課題を提示してもらった。
- ・①「自治区」と「自治会」について、勉強し協議していこうと考えている。高齢化率が高くなり、過疎化に直面しており、自治区長の担い手がおらず、自治区役員の兼務が増え、自治区運営にあたっての負担が増えている状況である。直近でいうと、足助地区で、大多賀自治区と明和自治区が合併し、大多賀自治区は自治会となっている。
- ・②移住者のトラブルが発生している。具体的には、移住者の人が、近所付き合いをしたくない、地域から監視されているようでイヤだ、という発言をしていた。

<質疑>

中村委員；高齢化率が高いことについてはまさに課題で、互助の一助として社協も協力していきたい。

古橋真人委員；移住者を受け入れることは大まかな方向性として正しいのかなと思うが、区長会としてはどのような考えとなっているか？

→藤綱副会長；自治区長の中でも温度差があることは事実であるが、空き家を活用していくこと自体は皆、賛成であると思う。

古橋久三委員；たすけあいプロジェクトの検討状況はどうか？

→藤綱副会長；足助地区のマイパワーを中心に、NPO稲武まちづくり協議会と連携して検討を進めている状況である。

→三江副会長；NPO稲武まちづくり協議会は、暮らし検討委員会から委託を受ける形になる。事務局運営にあたって、マイパワーを含めて協定を締結する方向の話になっている。

3 各種話題提供について

(1) 道の駅どんぐりの里いなぶりリニューアルオープンについて

佐藤委員；

- ・7月1日(金)のプレオープン、7月2日(土)のリニューアルオープンに向け、現在、店内で商品の陳列を鋭意進めている。
- ・7月2日(土)は記念式典のほか、地元文化団体の公演、7月3日(日)は地元ゆかりのアスリートイベント、稲武地区コミュニティ文化部会の公演を行う。また、8月7日(日)までの週末ごとにオープニング月間イベントを行う。

中村委員；配布資料に沿って説明

古橋久三委員；キャノピーのツバメの状況はどうか？

→事務局(柴田担当長)；現在も営業している状況であることから、当面はこのまま様子を見る。秋以降に、事業者と相談しながら何らかの対応を検討していきたい。

三江副会長；オープニングイベントのPRはどうなっているか？7月16日(土)、17日(日)に、ラリーや交通安全に関するイベントを実施するが、あまり地元知られていないようだ。

→佐藤委員；ラジオラヴィートや東海ラジオでの告知を行う。また、ポスター掲示を市内各所に依頼している。

(2) 議事録の公表について

事務局(柴田担当長)；豊田市ホームページに掲載したので、ご承知ください。また、今後、稲武支所だよりでも、協議内容の概要を記載する。

4 各種話題提供について

(1) ワーキング部会、各委員からの報告

特になし

5 次回開催日

令和4年7月26日(火曜)午後7時～ at 稲武支所団体会議室

<以上>